

2026. 1月

# 女性チャレンジ応援拠点だより

～チャレンジロードの歩き方～



コラム

## 「2026年スタート、2025年度スパート」

新年が明けました。大晦日から元日、時間はつながっていますが、節目があるから気持ちもあらたまります。2026年はどんな年になるでしょうか、どんな年にしましょうか。

そこで新年最初の『チャレンジロードの歩き方』のテーマは、「2026年スタート、2025年度スパート」。新年をむかえて今年一年をどんな年にするか意気込みつつ、年度はこれからが終盤ですから締めくくりの仕事をうまく仕上げて、よい新年度を迎えるものです。ちなみに、節目の「節」は、「竹の節で区切りをつけて締めくくる」というのが大もとの意味。そこから「ほどよい、ほどよくする」(調節など)という意味につながっているとか。正月からの一年も、4月からの新年度も、ほどよい年にしていきたいですね。そこで以下の2点をお伝えします。

### 1. 一年の計は一月中にあり。

当年のテーマあるいはモットーが自身の中で定まつてくるのは1月の終わり頃です。旧年の11月末には当年がどんな年だったかがわかり、新しい年に思いを馳せているうちに新年を迎え、迎春ムードの中に次第にやる気が出てきて、“そうだ、今年は…、そうしよう！”と着地したところで1月が終わりに近づいているのです。

もしこんな風なカタチでテーマが浮かんでこなければ、意識して捻りだすようにしましょう。10年後に描く将来像も、1年ごとのステップアップがあってのことです。旧年中のことをふり返り、特徴的なことを拾い出し、吟味して新年のテーマへとつなげます。テーマやモットーをスローガン的にアウトプットし、いつでも目にふれるようにするのも一考です。「人間は見えるもの、動くものに反応する」(アラン・カーティス・ケイ(※))ので、実行力が高まるはずです。なかには自身のテーマやモットーを漢字一字で表しているという人もいます。

### 2. 終わりを丁寧に締めくくり、新しい始まりの道すじをつける。

みなさんの中にはグループや団体として、支援をうけた先に3月末までに報告書を提出しなければならない方もいらっしゃるでしょう。添付する書類や資料も少なくないし、作業が細かく煩雑なのが常です。できることは先にやり、早々に下準備にとりかかりましょう。3月にバタバタせずに済むだけでなく、下準備の作業が「ふりかえり」にもなり、思いがけない気づきやヒラメキがあり得ます。

例えば、所定の報告書はそれとして、もっとふみこんだ、独自な視点や着眼からのレポートをとりまとめることもおすすめです。活動をとおして新しい問題意識がめばえ、課題がうかびあがります。そういうことをとりまとめ、グループや団体内で共有すれば協働意識がまた少し高まり、新年度のよい弾みになります。支援先への報告書にも別添するのによいカタチで仕上げると、提出する報告書の質も高まりそうです。

単独で活動している場合、例えば、昨年末に「拠点」に来られた方は、秋に受講したセミナーをきっかけに自分の中で新しい問題意識がうまれ、「ライフワークにしていきたい、公的な場を通じてたくさんの人に発信していきたい」と感じたそうです。そこで、「年末までにその思いを書き留めましょう。年が明けたら、2月末までには現サイトに新テーマのページを追加し、紙媒体の広報物をつくり、3月には4月からどう動いていくか行動を組み立てましょう」とお伝えしました。

さあ、みなさん、今年一年も4月からの新しい年度も、それぞれにほどよく、よいものにしていきましょう。スタッフ一同今年もみなさんに寄り添っていきます。ご利用をお待ちしております。

(※) アメリカ合衆国の計算機科学者、教育者、ジャズ演奏家

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館  
電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705

開室日

※祝日、祝日の翌日の場合は休室

水	木	金	土
18:00 ~ 20:00	13:00 ~ 15:00	10:30 ~ 12:30	13:00 ~ 15:00

開室時間内は自由に出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

